

IV. 昭和 38 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

次の 3 種がある.

東京大学生産技術研究所報告 (略称: 生研報告)

所員のまとまった研究成果を発表する. 本文は和文または欧文とし, 不定期発行で年間 10 種前後を刊行している.

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね, 月刊で発行している.

以上は, 本所の発行の分で, その他随時に学会誌, 協会誌その他の学誌に研究を発表している.

生研リーフレット

生研の研究成果で, 実用化への手引とするため, 写真中心に簡略に編集したもので, 現在まで 91 種を発行している.

A. 東京大学生産技術研究所報告 (不定期刊・研究発表誌)

昭和 38 年度 (38 年 4 月~39 年 3 月) に発表した分を次に列挙する.

巻 号	題 目	著 者	発行年月
13・1	電量滴定法の研究 (英文)	高橋 武雄・桜井 裕	38. 6
13・2	スポットダイアグラムによる映像の研究 (英文)	久保田 広・宮本 健郎	38. 8
13・3	指の機能の工学的研究 (英文)	山下 忠・森 政弘	38.11
13・4	写真現像の機構 (仏文)	菊池 真一	38.12
13・5	微小白金極によるボルタメトリーの研究 (仏文)	菊池 真一・本多 健一	39. 2
13・6	直交異方性板の影響面 (英文)	川井 忠彦	39. 2
13・7	写真測量による文化財の精密測定への応用 (英文)	丸安 隆和・大島 太市	39. 3
14・1	偏平球殻理論とその応用	坪井 善勝	39. 3

B. 生 産 研 究 (月刊・研究紹介誌)

巻 号 (発行年月)	題 目	著 者
14巻4号 (38年4月)	宮津純先生 (巻頭言)	石原 智男
	粒体メカノケミカルピストンの諸特性	森 政弘・松島 正大
	ダイオード型パラメトリック増幅器	黒川 兼行
	吸着法による放射性廃液の処理	河添邦太郎・竹内 雅
	貯水池の滞砂の問題の水力模型による研究について (速報)	井口 昌平
	粉体の表面積測定に関する研究 (速報)	福田 義民・河添邦太郎

巻号 (発行年月)	題 目	著 者
15巻5号 (38年5月)	橋の進化のあらまし 退官記念講演概要 写真測量の水車形状の精密検査への利用	池田 憲治・竹沢 進 福田 武雄 丸安 隆和・大島 太市 津田 昌明 岩下 秀男 朝倉 利光 石原研究室
15巻6号 (38年6月)	建築における生産管理の実態調査 光線追跡から一次元高次収差関数を求める方法(速報) アキシアル・プランジャ形ポンプ, 同モータの性能 (第2報)(速報) トランジスタ化したパルス式送電線 接地抵抗計(速報) 写真現像と酸化還元電位 ラジェーション・コロージョン イオン性界面活性剤へのビルダーの作用について ガラス表面における油分子の吸着現象の分子線法による研究 (速報) 常時微動電解析装置の試作(速報) 斜板形アキシアルプランジャポンプの性能(速報)	油圧研究グループ 河村 達雄・田代文之助 難波 克明 菊池 真一 本間 禎一 松島 正太 富永 五郎・辻 泰 岡本 舜三・横井 勇 井田 富夫・小島 英一
15巻7号 (38年7月)	1963年における観測ロケットの計画 計装と観測 新実験場設置について 観測 ロケット IQSY とロケット観測 特集号 一カップ COSPAR と日本のロケット観測 8L・8・9L カップ8L型について 9M型一 カップ9M型について カップ8型8号機および9号機について カップ8型10号機について カップ8型11号機について カップ8L型1号機について カップ9L型2号機について カップ9M型1号機について カップ8L・9M型の空力特性 カップ8L・8・9L・9M型の性能計算 カップ8L・9M型の構造強度 小型ロケットについて ラムダ735型エンジンの開発 溶接ロケットチャンバの開発 ラムダ地上試験用推力計 デジタル計算機による性能計算 テレメータ送信機 高感度受信機(その2) 復調記録系 テレメータ用ロケットアンテナ カップ8型8号機より11号機にいたる間におけるテレメータ実験について	糸川 英夫 高木 昇 糸川 英夫 前田 憲一 畑中 武夫 糸川 英夫 糸川 英夫 玉木 章夫・齋藤 成文 野村 民也・森 大吉郎 齋藤 成文・玉木 章夫 森 大吉郎・野村 民也 森 大吉郎・野村 民也 玉木 章夫・齋藤 成文 玉木 章夫・三石 智 秋葉隼二郎・広沢 曄夫 北坂 秋秀 森 大吉郎・中野 旭 玉木 章夫・森 大吉郎 吉山 巖 秋葉隼二郎 安藤 良夫 大井光四郎・吉山 巖 小倉 公達・時末 征 渡辺 勝・岡本 通子 大井 克彦・福井 真一 梶谷 光男 高橋 健一 大井 克彦・鳥井 知聰 山下不二雄・稻嶺 洋右 テレメータ研究班 高木 昇・野村 民也 横山 幸嗣・横山 茂士

	井上浩三郎・村田由紀夫 大井 克彦・高橋 健一 片山 伸生 野村 民也・榎本 俊弥 渡部 優
4 mφ レーダ装置	
レーダ用機上アンテナと飛しょう運動によるレベル変動について	レーダ研究班 高木 昇・黒川 兼行 長谷部 望・市川 満 関口 豊
レーダによるロケット航跡標定結果	レーダ研究班 高木 昇・斎藤 成文 長谷部 望・亀尾 要道 市川 満・関口 豊 倉茂 周芳
SO 計画と SO-150 型ロケットについて	野村 民也・吉山 巖 中村 日色
加速度計および計測結果	吉山 巖・中村 円生 林 紀幸
温度計・歪計・横加速度計 タイマ	今沢 茂夫・和波 衛身 吉山 巖・坂井 広 能取谷博偉
発音弾発光検出器	吉山 巖・今沢 茂夫 和波 衛身
比色計について	吉山 巖・広沢 曄夫 松島 亨
開頭装置について	板橋 宗雄・中村 巖 吉山 巖
ラムダ型エンジン (735 φ ¹ / ₃ , 735 φ ² / ₃ , 735 φ ³ / ₃) の地上試験について	植村 恒義・田中 勝也 金沢 和夫・喜久里 豊
—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 37 報)—	岡宮 誠一
—カッパ 8 型ロケット (7, 8, 9, 11 号機) の光学的追跡について	植村 恒義・田中 勝也 金沢 和夫・黒河 喜昭
—一同 上 (第 38 報)—	
—カッパ 9L 型 2 号機, 8L 型 1 号機, 9M 型 1 号機の光学的追跡について	植村 恒義・伊藤 寛治 田中 勝也・山本 芳孝 金沢 和夫
—一同 上 (第 39 報)—	
—小型モデルロケットの光学的追跡について	植村 恒義・田中 勝也 金沢 和夫・北原 時雄
—一同 上 (第 40 報)—	
18 mφ トラッキングテレメータアンテナ支塔の設計	丸安 隆和・中村 英夫
電離層直接観測器とそれによる観測結果	平尾 邦雄
カッパ 8 型 11 号機の宇宙線測定	(宇宙線観測班) 宮崎友喜雄・竹内 一 今井 喬・吉沢 忠良 大塚 好造・大矢 幸司 加藤 愛雄・青山 巖 清水 義雄・飲塚 正 古畑 正秋・中村 正年 中村 強・中村 純二 前田 憲一・竹屋 芳夫 松本 治弥・奥本 隆昭
カッパ 8 型 11 号機によるロケットの姿勢測定	
ロケットによる大気光層の高さの測定	
上層における気温・風の観測結 (第 2 報)	

	カッパ8型 11 号機による電離層中の低周波電波伝播ならびに雑音の観測	大家 寛・建部 涉 前田 憲一・木村 磐根 高倉 達雄
	電離層プローブの風洞実験 ードリフトプラズマの探極測定—	土手 敏彦・一宮 虎雄 玉木 章夫
	鹿児島宇宙空間観測所の起工式と鹿児島県・内之浦町両協力会の成立	下村潤二郎
	KT 計画について	玉木 章夫・渡理 竜彦
	建築施設の設計 (KSC)	池辺 陽
	鹿児島宇宙空間観測所建設工事概要	丸安 隆和・中村 英夫
	新実験場地上設備について	津田 昌明 齋藤 成文・吉山 巖 高中 泓澄
	ロケットの輸送について (KSC)	吉山 巖
	LM テストスタンド	秋葉敏二郎・吉山 巖
	吹米の宇宙科学技術の現状高木昇 (その2)	高木 昇
	総務班の記録 —1961 年7月実験から 1962 年 12 月実験まで—	渡理 竜彦
	SE データ・センター報告	広沢 曄夫・山脇 菊夫 佐伯 信吾
15巻8号 (38年8月)	東京オリンピック国立屋内総合競技場とその模型実験における写真測量の応用について	坪井 善勝・丸安 隆和 大島 太市・川口 衛
	新設された床版試験機とその性能	福田 武雄・星埜 和 久保慶三郎
	大型プラスチック気球の放球法	岡本 智
	2 次元問題における調和曲線座標の応用について	佐武 正雄
	グラントムソンプリズムを用いた光的可変減衰器 (速報)	齋藤 成文・黒川 兼行 横山 幸嗣
	メタクロレインの重合について (速報)	中島 利誠・永井 芳男
	新しい化合物の合成 (速報)	松尾 昌季・永井 芳男
15巻9号 (38年9月)	トリクレン, 塩化アルルの活性炭に対する吸着平衡	福田 義民・河添邦太郎 竹内 雍
	界面動電ポテンシャル	妹尾 学
	客車暖房のカスケード制御装置	沢井善三郎・横田 和丸 川瀬 太郎
	メタクロレインの選択的オレフィン重合 (速報)	中島 利誠・永井 芳男
	過ラウリン酸のポーラログラフィーとその応用 (速報)	早野 茂夫・下村 一豊 丹波 弘子
15巻10号 (38年10月)	鉄鉱石流動還元の機構	原 善四郎
	圧力計工業界の現況	小川 正義
	光の可干渉性 (Coherency) とその応用	久保田 広
	東京の道路交通 —オリンピック開催に寄せて—	星埜 和
	近距離音場の近似計算 (速報)	鳥飼 安生
	地震計自動感度切換装置 (速報)	岡本 舜三・横井 勇
15巻11号 (38年11月)	溶融塩電解法による単体ボロンの製造	明石 和夫・江上 一郎
	バックラッシュのある制御系の数学的取扱いと補償対策	藤堂 勇雄
	土の“液性限界”試験法の変遷と問題点	三木五三郎
	合成樹脂のコンクリートへの応用	丸安 隆和・小林 一輔

巻号 (発行年月)	題 目	著 者
15巻12号 (38年12月)	糊料の流動における揺変破壊形式 (速報)	黒岩 城雄・中村 亦夫
	試験台による自動車の研究 —特に運動性能について— バナジウム現像法の研究	平尾 収・中島 隆
16巻1号 (39年1月)	自動車車体線図作成への写真測量の応用 (その1) イオン交換膜電解透析における濃度分極現象	菊池 真一・吉永 忠司 本多 健一
	工学研究 巻頭言 生研庁舎付近の歴史 満載吃水線規程について 薄肉開断面材の弾性力学 (I) “近距離音場の近似計算” について (速報) インコヒーレントに近い光源の空間的コヒーレンスの測定法 (I) (速報) 自動車の低速時における操舵トルク (第2報) (速報) 自動車の低速時における操舵トルク (第3報) (速報) 新しい化合物の合成	丸安 隆和・大島 太市 妹尾 学・本田 和子 山辺 武郎 藤高 周平 村松貞次郎・音川 惇子 田宮 真 川井 忠彦 鳥飼 安生 小瀬 輝次 小口 泰平 小口 泰平 永井 芳男・松尾 昌季 綾部 好雄・松田 達史 石井 聖光・平野 興彦 勝田 高司・後藤 滋 寺沢 達二 川井 忠彦 西川 精一・長田 和雄 小林 繁美 勝田 高司・寺沢 達二 板本 守正
16巻2号 (39年2月)	日生劇場の音響について 船室用誘引型吹出口ユニットについて	勝田 高司・後藤 滋 寺沢 達二
	薄肉開断面材の弾性力学 (II) Cu-Cr 合金の研究 (第1報) —初期時効段階における二・三の研究結果— (速報) 面格子付吹出口の発生騒音について (速報)	川井 忠彦 西川 精一・長田 和雄 小林 繁美 勝田 高司・寺沢 達二 板本 守正
16巻3号 (39年3月)	金属の水素脆性 イオン交換膜による製塩について 活性炭吸着法による塩化水素の精製 Runge-Kutta-Merson による常微分方程式の数値的解法 新しい道路材を求めて (海外事情) 第1回生研講習会の概況 (記録)	西川 精一 山辺 武郎 河添邦太郎・竹内 雍 藤田 長子 野崎 弘・斎藤 茂 田中 啓介 下村潤二郎

C. 生研リーフレット

No.	題 目	研究者名
85	デジタル記録型レンズ性能測定機	小瀬 輝次・高島 松雄
86	可変雰囲気内熱型ろう付装置	安藤 良夫
87	黒鉛用抵抗ろう付装置	安藤 良夫・沢井善三郎
88	ルビー・レーザ装置と検波装置	斎藤 成文
89	電子ビーム雑音測定装置	斎藤 成文
90	高性能アナログ電子計算機	野村 民也
91	化学反応による自励発振装置	山本 啓太

D. 著書および所外の学術雑誌などに発表したもの

—各項目末尾の数字は、順に巻(大字)、号、ページ、発行所名、年、月(西暦)を示す。巻のないものは、文字でその呼称を示す—

第 1 部

教授 岡本 舜三

地中構造物に働く地震力に関する研究(加藤勝行, 伯野元彦と共著): 土木学会論文集, 92号, 37~53, 1963. 4.

アーチダムの振動, 特にその従振動に関する研究(加藤勝行, 伯野元彦と共著): 土木学会論文集, 100号, 24~34, 1963. 12.

教授 久保田 広

光の Coherency について: 応用物理学会光学懇話会主催 3 回目 サマー・セミナー論文集, 1963. 8.

レーザー光の性質: 日本工業経済連盟主催第 70 回講座テキスト, 1963. 9.

レスポンス関数について「序論・はじめに」: 写真工業, 22, 2, 41, 1964. 2.

光の唸り(小倉磐夫, 朝倉利光と共著): 応用物理, 33, 2, 67~81, 1964. 2.

教授 一色 貞文

銅の上の酸化銅針状晶の Squeeze 型成長の可能性(本間禎一と共著): 応用物理, 32, 12, 933~936, 1963. 12.

被写体散乱線と欠陥像について(片岡邦郎, 高正 植, 山沢富雄と共著): 非破壊検査, 12, 3, 121~127, 1963. 5.

教授 玉木 章夫

Some Experiments on Probe Characteristics in Drifting Plasme(土手敏彦, 一宮虎雄と共著): J. Phys. Soc. Japan, 18, 2, 260~265, 1963. 2.

希薄気体力学の実験装置, 航空学会誌, 11, 117, 324・329, 1963. 10.

教授 大井光四郎

抵抗線ひずみ計の高周波追従性について: 機械学会講演会前刷, 1963. 11.

助教授 鳥飼 安生

超音波の平板における透過・境界面における反射の計算: 音響学会研究発表会講演論文集, 105~106, 1963. 5.

近距離音場と Lommel 関数: 音響学会研究発表会講演論文集, 107~108, 1963. 5.

助教授 山田 嘉昭

- 高速度の深絞り試験について（輪竹千三郎と共著）：塑性と加工，3，28，341～348，1963. 5.
- R値が深絞り性に及ぼす影響について：塑性と加工，4，38，183～194，1964. 3.
- 深絞りの理論—加工の限界—：機械学会誌，67，542，453～465，1964. 3.
- 深絞り加工の基礎知識：プレス技術，1，1，10～19，1963. 12.
- 高速度の深絞り試験：マシナリー，26，387，389，733～738，939～943，1963. 5および6.
- 深絞りの理論：日本機械学会，第191回講習会教材，1～30，1963. 5.
- 圧力容器の塑性変形：日本機械学会教材，第193回講習会，69～88，1963. 5.
- 金属の深絞りと潤滑について：日本油化学協会，油と表面第1回講習会テキスト，4-1～4-44，1964. 2.
- 試作した高速度試験機Ⅱ型について（輪竹千三郎と共著）：日本機械学会，第14回塑性加工連合講演会前刷，127～130，1963. 11.

助教授 小瀬 輝次

- 光電的ピント位置測定法：光学ニュース，No. 69，1～2，1963. 10.
- 光学時評：写真工業，21，11，31，1963. 11.

助教授 秋葉録二郎

- 固体推進ロケット燃焼器：月本機械学会誌，66，532，671～678. 1963. 5.
- ロケットの自動制御：電気学会誌，83～11，902，20～25，1963. 11.

助手 朝倉 利光

- Spot diagram（物理学メモ）：日本物理学会誌，18，4，50，1963. 4.
- Apodization（物理学メモ）：日本物理学会誌，18，5，68，1963. 5.
- Photographic Optics：Bull. Soc. Sci. Photo. Japan，No. 12，26～28，1962. 12.
- ルビーロッドの干渉縞と発光状態（花田博と共著）：応用物理，32，7，454～461，1963. 7.
- 光学（照明年報）：照明会誌，47，7，362～364，1963. 7.
- 不均一な位相，振幅分布をもつ開口による回折像Ⅳ. 回折像強度分布：応用物理，32，9，653～663，1963. 9.
- 有限な大きさのコヒーレント光源の回折像—直交偏光子をもつ偏光顕微鏡の場合—：応用物理，32，9，677～685，1963. 9.
- ガラスロッドの干渉縞と発光状態.（Ⅰ）均質ロッドの場合（花田博と共著）：応用物理，32，12，923～929，1963. 12.
- 周波数空間におけるコヒーレンス・マトリックス：応用物理，33，1，41～48，1964. 1.

- ガラスロッドの光学的均質性と発光状態（藤原裕文と共著）：東北大学電気通信研究所主催シンポジウム（光波およびマイクロ波量子エレクトロニクス）論文集，71～75，1964. 2.
- 光学機械：日本物理学会誌，19，2，75～76，1964. 2.
- 光の喰り（久保田広・小倉磐夫と共著）：応用物理，33，2，67～81，1964. 2.
- 有限な大きさのインコヒーレント光源の回折像—直交偏交子をもつ偏光顕微鏡の場合—（鈴木恒子と共著）：応用物理，33，2，91～98，1964. 2.
- ガラスロッドの干渉縞と発光状態，（II）角柱ロッドの場合（藤原裕文と共著）：応用物理，33，2，98～107，1964. 2.

第 2 部

教授 竹中 規雄

- 切削工具の展望：精密機械，30，1，4，精機学会，1964. 1.

教授 亙理 厚

- 摩擦による振動（杉本隆尚と共著）：日本機械学会論文集，29，200，1963. 4.
- 駆動軸系の振動：機械学会第 199 回講習会教材，1963. 10.
- ばねの設計（編集委員長）：丸善出版，1963. 12.
- Vibration Caused by Dry Friction：Bulletin of JSME，7，25，1964. 2.

教授 田宮 真

- 曳航ロープ張力について：造船協会論文集，113，28～36，造船協会，1963. 6.

教授 松永 正久

- 振動式バレル研摩法（第 1 報，マスの混合機構と仕上区域について），（萩生田善明・内藤敏と共著）：精機学会春季講演会前刷，89～90，1963. 4.
- 機械研摩概説・機械研摩の機構・バレル仕上：金属表面技術便覧，83～86，98～109，日刊工業新聞社，1963. 6.

教授 大島康次郎

- A Hydraulic Torque Amplifier (Coauthor: K. Araki)：Preprint of 2nd IFAC Congress，1963，8.
- ステップモータを使用した放電加工機の自動電極送り（江川巖と共著）：計測と制御，2，8，580～587，1963. 8.
- オンオフ制御用特殊サーボモータ（江川巖と共著）：第 6 回自動制御連合講演会前刷，217～218，1963. 10.
- 監訳 自動制御計画法 上巻 (J.G. Truxal 著)：近代科学社，1963. 5.

教授 石原 智男

- 流体継手の研究 (第 1 報) (古屋七郎と共著): 日本機械学会第 40 期総会学術講演会前刷, No. 87, 1~4, 1963. 4.
- アキシヤル・プランジャ形ポンプ, 同モータの性能 (山口 淳, 外 3 名と共著): 日本機械学会第 40 期総会学術講演会前刷, 1963. 4.
- 油圧伝動装置の性能について: 自動車技術会京都大会学術講演会前刷, 1963. 8.
- 噴流について (樋田 昭と共著): 日本機械学会誌, 66, 537, 31~38, 1963. 10.

助教授 植村 恒義

- 高速度写真による金属切削機構の解析研究 (山本芳孝, 三菱金属鉱業 K K, 中村裕道, 鳥久光松と共著): 第 40 期通常総会, 同学術講演会, 日本機械学会前刷集, No. 92, 71~74, 1963. 4.
- Beckman & Whitley 192 型超高速度カメラの性能試験結果 (山本芳孝と共著): 第 10 回応用物理学関係連合講演会予稿集, 96~97, 1963. 3.
- 高速度写真用光メザーの研究 (金沢和夫と共著): 第 10 回応用物理学関係連合講演会予稿集, 98~99, 1963. 3.
- 回転反射鏡式とドラム式を組合せた新型高速度カメラの試作研究 (第 5 報) — 4 面体反射鏡駆動部について — (伊藤寛治, 黒川嘉昭, 北原時雄と共著): 第 10 回応用物理学関係連合講演会予稿集, 100~101, 1963. 3.
- 超高速度カメラの試作 (第 6 報) — 最高撮影速度毎秒 600 万駒, 連続 1,800 駒の超高速カメラの計画 —: 第 10 回応用物理学関係連合講演会予稿集, 102~103, 1963. 3.
- 高速度写真による金属切削機構の解析研究 (山本芳孝, 三菱金属鉱業 K. K. 中村裕道, 同鳥久光松と共著): 精機学会昭和 38 年度春季大会学術講演会前刷, 133~134, 1963. 4.
- 回転反射鏡式とドラム式を組合せた新型超高速度カメラの試作研究 (第 4 報) — 4 面体反射鏡駆動部について — (伊藤寛治, 黒河嘉昭, 北原時雄と共著): 精機学会昭和 38 年度春季大会学術講演会前刷, 135~136, 1963. 4.
- 回転反射鏡式とドラム式を組合せた新型超高速度カメラの試作研究 (第 5 報) — 毎秒 600 万駒超高速度カメラの計画 —: 精機学会昭和 38 年度春季大会学術講演会前刷, 137~138, 1963. 4.
- 高速度写真測定: 精機学会主催光学的測定法講習会テキスト, 145~178, 1963. 5.
- 高速度カメラ: 学会業務協議会「工業と製品」No. 3, 102~114, 1963. 7.

助教授 高橋 幸伯

- Descriptions of Japanese Instruments for Stress and Strain Measurement in Ship Structural Research: Preprint of the 2nd Internal Ship Structure Congress, 1~57, 1963. 8.
- 構造物における疲労: 生産と技術, 16, 2, 6~13, 1964. 2.

助教授 森 政弘

- 汎用シーケンス制御装置：第6回自動制御連合講演会前刷，203～204，1963. 10.
指の機能の工学的研究：日本人工臓器学会雑誌，1，1，13～15，1963. 12.
自動化とシーケンス制御：自動制御，3，1，5～8，1964. 1
経済性より見たシーケンス制御：自動制御，3，1，9～11，1964. 1.

助教授 川井 忠彦

- 平板翼の撓み（航空宇宙技術・埴 武敏その他と共著）：第13回応用力学連合講演会前刷，1963. 8.
平板の固有値問題について（続）航空宇宙技研・多田保夫と共著）：第41回日本機械学会全国大会前刷，1963. 10.
平面骨組構造の最小重量設計法における電子計算機を応用した計算例：第105回工経連講座テキスト＜塑性設計とその応用＞，1964. 2.

助手 梅谷 陽二

- 生産・在庫管理における OR 技法（松田武彦らと共著）：培風館，336，1963，10.
懸濁液の粒度測定：第5回自動制御連合大会前刷，No. 402，1963.

第 3 部

教授 藤高 周平

- 雷放電カウンタによる昭和38年夏期測定結果（河村達雄と共著）：雷害事故調査委員会資料，5，1963. 9.
開閉サージ閃絡電圧の湿度特性（河村達雄，北条準一と共著）：電気学会東京支部大会講演論文集，246，1963. 11.
Consideration upon the Relation between the Isokeraunic Level and the Results obtained with the Lightning Flash Counter (Co-author T. Kawamura, S. Tsurumi, K. Kinoshita)：CIGRE Study Committee No. 8, Working Group, Lightning Counter, 1964. 2.

教授 森脇 義雄

- 高計数率遅延線路記憶式多チャネル波高分析器用一時記憶装置（三原真吾・寺川俊昭と共著）：電気4学会連合大会論文集，630，1963. 4.
高計数率波高分析器用遅延線路式記憶装置（寺川俊昭・三原真吾と共著）：電気4学会連合大会論文集，631，1963. 4.
高計数率遅延線路記憶式多チャネル波高分析器用一時記憶装置（三原真吾・寺川俊昭・三輪博秀・林 治・西本敏之と共著）：第5回日本アイソトープ会議報文集第3分冊，

139, A/d-25, 1963. 5.

高計数率波高分析器用遅延線路記憶装置 (寺川俊昭・三原真吾・三輪博秀・林 治・西本敏之と共著): 第5回アイソトープ会議報文集第3分冊, 139, A/d-25, 1963. 5.

教授 沢井善三郎

動力を検出値とする巻取り張力制御装置の解析 (稲葉博, 川瀬太郎と共著): 電気4学会連合大会講演論文集, 1140, 1963. 4.

クレバキンの Invariance Principle とその張力制御系への応用 (稲葉博, 川瀬太郎と共著): 計測と制御, 2, 12, 976~987, 1963. 12.

自動制御用語 JIS 案について (井口雅一と共著): 計測と制御, 3, 1, 57~62, 1964. 1.

自動制御用電気部品の信頼性: オーム, 51, 1, 18~20, 1964. 1.

教授 齋藤 成文

Detection and Amplification of the Microwave signal in Laser Light by a parametric Diode (黒川兼行, 藤井陽一, 木村達也と共著): Proceedings of the Symposium on Optical Masers Polytechnic Institute of Brooklyn, 567~578, New York, 1963.

教授 野村 民也

デジタル割算回路 (横山茂士と共著): 電気学会東京支部大会, 1963, 10.

Tracking Telemetry Antenna at Kagoshima Space Center (高木昇, 他と共著): 5th ISTS, Tokyo: 1963. 9.

Circularly Polarized Conical Scanning System (長谷部望, 他と共著): 5th ISTS, Tokyo: 1963. 9.

計測制御回路: 日刊工業新聞社刊, 1963. 4.

18mφ トラッキングテレメータ空中線 (高木昇, 齋藤成文と共著): 電気4学会連合大会, 宇宙通信シンポジウム予稿, 1963. 5.

わが国における観測ロケットとエレクトロニクス: 計測と制御, 2, 6, 1963.

教授 尾上 守夫

Relationships between Input Admittance and Transmission Characteristics of an Ultrasonic Delay Line.: Trans. Inst. Radio. Eng., UE-9, 2, 42~46, 1962. 12.

第4回国際音響学会 (I. C. A.) 報告, 一超音波: 音響学会誌, 19, 74~78, 1963. 3.

セラミック振動子の電気機械結合係数測定法 (H. F. Tiersten, A. H. Meiteler と共著): 電気通信学会誌, 46, 330~335, 1963. 3.

圧電磁歪ジェイレータの終端回路: 昭和38年電気4学会連合大会講演論文集, No. 1196, 1963, 4. No. 1187, 1963. 4.

圧電セラミック円筒のすべり振動: 音響学会春季講演論文集, No. 1-1-7, 1963. 5.

- 超音波による碍子汚損の検出 (藤高周平・藤田良平・山田博章と共著): No. 2-1-11, 超音波遅延回路における駆動アドミッタンスと伝送特性との関係: 超音波研究会資料, 1963. 6.
- Mechanical Input Admittance of Ultrasonic Delay Lines Operating in Torsional and Shear Modes: J. Acoust. Soc. Am., 35, 7, 1003~1008, 1963. 7.
- Resonant Frequencies of Finite Piezoelectric Ceramic Vibrators with High Electro-mechanical Coupling: Trans. Inst. Radio. Eng., UE-10, 1, 32~39, 1963. 7.
- 圧電セラミック円筒の高次すべり振動: 音響学会秋季講演論文集, No. 1-1-4, 1963. 10.
- 圧電セラミック円筒のひろがり振動: 同上, No. 1-1-5, 1963, 10.
- 水晶振動子の副振動のシュミレーション (十文字弘道と共著): 昭和 38 年電気通信学会全国大会, No. 420, 1963. 11.
- 圧電振動子と結合振動理論: 同上, No. 57, 1963, 11.
- 板波探傷法の基礎 (I), (II): 薄板, 薄肉管および線の新しい超音波探傷法講習会テキスト, 日本非破壊検査協会, 1963. 12.
- 水晶発振子の副振動の解析と検出: 電気通信学会誌, 47, 38~47, 1964. 1.
- 有限な形状をもつ高結合圧電セラミック振動子の共振周波数 (H. F. Tiersten と共著): 電気通信学会誌, 47, 48~54, 1964, 1. および超音波研究会資料, 1963. 7.
- 板波用探触子としての Y カット (山田博章と共著): 昭和 38 年電気 4 学会連合大会, No. 1196, 1963. 4.

助教授 河村 達雄

- パルス式接地抵抗計のトランジスタ化 (田代文之助, 難波克明と共著): 電気 4 学会連合大会講演論文集, 189, 1963. 4.
- コンデンサブッシングの汚損閃絡特性 (井上次男, 末次輝雄, 武井隆治と共著): 電気学会連合大会講演論文集, 938, 1963. 4.
- 外部絶縁の開閉サージ閃絡試験について, 大気状態による補正: 電気学会高電圧試験専門委員会, 開閉サージ分科会資料, S-215, 1963. 8.
- 雷放電カウンタによる昭和 38 年夏期測定結果 (藤高周平と共著): 雷害事故調査委員会資料, 5, 1963. 9.
- 雷放電カウンタによる測定結果の検討 (田代文之助と共著): 雷害事故調査委員会資料, 19, 1963. 11.
- パルス式送電線接地抵抗測定装置 (田代文之助, 難波克明と共著): 電気学会東京支部大会講演論文集, 245, 1963. 11.
- 開閉サージ閃絡電圧の湿度特性 (藤高周平, 北条準一と共著): 電気学会東京支部大会講演論文集, 246, 1963. 11.
- パルス式接地抵抗計の原理とその応用: 電子技術, 5, 13, 77, 1963. 12.

雷放電カウンタによる IKL の推定 (田代文之助と共著): 高電圧技術研究会資料, 15-15, 1963. 12.

Consideration upon the Relation between the Isokeraunic Level and the Results obtained with the Lightning Flash Counter (S. Fujitaka, S. Tsurumi, K. Kinoshita): CIGRE Study Committee No. 8, Working Group-Lightning Counter, 1964. 2.

助教授 山口 楠雄

工程管理の自動化に関する二, 三の手法: 電気通信学会, オートマトンと自動制御研究会資料, 1963. 9.

工程管理の自動化: アナログ技術研究会資料, 3, 10, 1963. 12.

Fourier 解析方式文字読取機 (亀田恒彦, 元岡 達, 吉田金次郎, 田中信行と共著): 電気通信学会, トランザクション・情報と制御の研究, 昭和 38 年度第 1 号 (ボタン認識特集号), 1963. 12.

工程管理の自動化について: 計測と制御, 3, 3, 163~170, 1964. 3

助教授 高羽 禎雄

実験用並列 PCM 電子交換機 (尾佐竹徇他 3 名と共著): 電気通信学会雑誌, 46, 10, 1402, 電気通信学会, 1963. 10.

独立同期 PCM 中継方式 (尾佐竹徇他 2 名と共著): 電気通信学会雑誌, 47, 2, 210, 1964. 2.

講師 後川 昭雄

不均一な半導体と注入空間電荷: 半導体ハンドブック, 第 1 編第 4 章, オーム社, 1963.

助手 山田 博章

板波用探触子としての Y カット (尾上守夫と共著): 昭和 38 年電気 4 学会連合大会講演論文集, No. 1196, 1963. 4.

超音波による礫子汚損の検出 (藤高周平, 尾上守夫, 藤田良平と共著): 音響学会春季講演論文集, No. 2-1-11, 1963. 5.

第 4 部

教授 高橋 武雄

コルトフ教授を迎えて: 分析化学, 12, 763~772, 1963. 8.

分析機器の現状と問題点: 工業と製品, No. 5, 11~17, 1963. 9.

On Polarographic Behaviour of Indium Ion in Potassium Thiocyanate (白井ひで子と共著): Review of Polarography (Japan) 11, 155~159, 1963. 9.

金属がオンの混合溶液中のイオン交換反応におけるアルギン酸塩の選択的挙動 (石渡義

- 夫・白井ひで子と共著)：工化誌，66，1458～1461，1963. 10.
- 工化誌特集「化学工業への赤外吸収スペクトル法の応用」によせて：化学と工業，16，1291～1294，1963. 11.
- 自動分析について：最新の分析化学，第15集，1～11，1963. 12.
- 今日の分析化学：化学工業資料，31，241，1963. 12.
- 機器分析法の現状と動向：化学工場，1964，2号，1964. 2.
- Continuous Coulometric Titration of Various Oxidizing Substances by Electrogenerated Iron (II)，(桜井裕と共著)：TALANTA，10，971～979，1963. 9.
- 機器分析法の史的展望：分析化学，13，3，1964. 3.
- 有機工業分析(田中誠之と共著)：日刊工業新聞社，1963. 4.

教授 福田 義民

- カーボンブラックの水分の吸着(水鳥正路，河添邦太郎と共著)：工化誌，66，1271～1275，1963. 9. カーボンブラック表面のヒドロキシル基とカルボキシル基(水鳥正路，河添邦太郎と共著)：工化誌，66，1275～1277，1963. 9.
- カーボンブラックの真比重(水鳥正路，河添邦太郎と共著)：工化誌，66，1757～1759，1963. 12.
- 熱天秤によるカーボンブラックの揮発分と着火温度の測定(水鳥正路，河添邦太郎と共著)：工化誌，66，1760～1764，1963. 12.

教授 永井 芳男

- ポリスチレンとフタル酸ジクロリドの反応(中島利誠，後藤信行と共著)：学振，116，芳香族化学委員会業績報告，15，59，1963.
- メタクロレインの重合(中島利誠と共著)同上，69，1963.
- 6,13-ジクロル・キナクリドンおよび誘導体の合成(後藤信行，西久夫，長谷川日吉，古新居祥，関根堅次，三又久弥，石井修吉と共著)：同上，139，1963.
- マラカイト・グリーン・ロイコベースの放射線酸化(後藤信行，清水文代と共著)：同上，176，1963.
- メタクロレインの重合(中島利誠と共著)：工化誌，66，12，1905，1963.
- 有機色素化学界の進展と今後の動向：工化誌，67，1，1，1964.
- 4-クロルベンゾアントロン(山本謙二，長沢孝太郎と共著)：工化誌，67，1，82，1964.
- 4-クロルベンゾアントロンと α -リチウムナフタリンとの反応(山本謙二，後藤信行と共著)：工化誌，67，1，85，1964.
- α -ブチル基を有する β -ジスアゾベンゼン誘導体に関する研究(松尾昌季と共著)：工化誌，67，1，88，1964.
- 4-クロルナフタル-N-アルキルならびにアリールイミド類とベンゾアントロンとのナトリウムアルコラートによる縮合(後藤信行と共著)：工化誌，67，1，152，1964.

教授 浅原 照三

ポリグリコリドの生成反応 (片山志富と共著): 工化誌, 66, 485, 1963.

エチレンと α, α, α -トリクロロ- ω -ヨードアルカンとのテロメリゼーション: 工化誌, 66, 958, 1963.

Telomerization of Ethylene with α, α, α -Trichloro- ω -Iodo Alkane: Bull. Japan Petroleum Institute, 5, 36, 1963.

ポリグリコリドの合成と物性 (片山志富と共著): 工化誌, 67, 362, 1964.

脂肪族過酸化物とハロゲンの反応に関する研究 (雑賀大武と共著): 油化学, 13, 126, 1964.

Telomerization of Ethylene with Carbon Tetrachloride: Bull. Japan Petroleum Inst. 6, 53, 1964.

合成洗剤の化学について: 用水と廃水, 6, 3, 7, 1964.

教授 加藤 正夫

RI の水理学への利用, 問題点と将来性: 原子力工業, 9, 8, 24, 日刊工業新聞社, 1963, 8.

水中放射能のガンマ線による直接検出 (佐藤乙丸, 松坂光雄と共著): 第5回日本アイソトープ会議論文集 A/d-2, 3~72, 1963. 5.

Recent Development in Application of Tracer Techniques in Hydrological Engineering: 第5回日本アイソトープ会議論文集 C/E-3, 2~163, 1963. 5.

アルミニウム合金鑄物 [3]-アルミニウム合金鑄物の諸性質 (総合研究の報告書で, 幹事長として著述ならびにとりまとめを行なった, 全 101 ページ): 軽金属協会 (発行), 1964. 1.

新しい鑄物用アルミニウム合金: アルミニウム鑄造工業のあり方についての講習会テキスト, 軽金属協会, 1964. 3.

教授 野崎 弘

Eine Darstellung über Elektrophotographischen Eigenschaften des Titan-Dioxyd-Fax-Papiers: Proceedings of the First International Congress on Reprography (Darmstadt), A, 3~9, 1964.

教授 山辺 武郎

イオン交換樹脂およびイオン交換樹脂膜: 日本塩学会誌, 16, 5, 209~214, 1963. 1.

イオン交換樹脂 (清山哲郎と共著): p. 214, 日刊工業新聞社, 1963. 2.

助教授 武藤 義一

機器分析実験 (柳田泰之と共著): 共立出版社, 1963. 6.

化学工業試験: 実教出版社, 1964. 2.

助教授 今岡 稔

珪酸塩系のガラス化範囲について(山崎敏子と共著): 窯協, 71 [12], 215~223, 1963.

助教授 中村 亦夫

糖化酵素による逆重合(黒岩城雄と共著): 工化誌, 66, 1466, 1963.

デンブロン(またはパルプ)一有機溶媒一水系における水酸化ナトリウムの分配と誘導体の製造(黒岩城雄と共著): 工化誌, 66, 1880, 1963.

助教授 河添邦太郎

アイソトープ応用測定(竹内雍と共著): 化学工学, 27, 308~316, 1963. 5.

流量測定における放射性トレーサの化学的定量(加藤正夫, 佐藤乙丸, 竹内雍と共著): 第5回日本アイソトープ会議報文集, 3-289~290, 1963. 5.

カーボンブラックの水分の吸着(福田義民, 水鳥正路と共著): 工化誌, 66, 1271~1275, 1963. 9.

カーボンブラック表面のヒドロキシル基とカルボキシル基(福田義民, 水鳥正路と共著): 工化誌, 66, 1275~1277, 1963. 9.

溶解平衡: 化学工学協会編物性定数I集, 167~190, 丸善, 1963, 10.

カーボンブラックの真比重(福田義民, 水鳥正路と共著): 工化誌, 66, 1757~1759, 1963. 12.

熱天秤によるカーボンブラックの揮発分と着火温度の測定(福田義民, 水鳥正路と共著): 工化誌, 66, 1760~1764, 1963. 12.

助教授 早野 茂夫

有機過酸化物のポーラログラフィー, 油化学, 12, 605~612, 1963.

ポーラログラフ半波電位と分子構造: 分析機器, 2, 3, 17~20, 1964.

研究員 小林 昌敏

Non-Destructive Testing of Thick Steel plate by means of a Betatron, X-ray Image Intensifier and Television System (Co-author K. Nishibori etc.): 4th International Conference on Non-Destructive Testing Session 2, paper 15, 1963. 9.

高エネルギーX線および γ 線による透過検査一ベータトロンによる撮影: 放射線透過検査技術講習会, 都立 RI 研究所, 1963. 11.

放射化法の河水への利用: 原子力工業, 9, 12, 28, 日刊工業新聞社, 1963. 12.

Activation Analysis of Oxygen by means of (γ, n) Reaction (Co-author S. Maeda etc.): Radioisotopes, 13, 1, 1, 1964. 1.

Neutron Activation Analysis of Alloyed Uranium Component in Carbon Steel (Co-author T-Sawai): Radioisotopes, 13, 1, 20, 1964, 1.

Determination of Trace Elements in Aluminum by Neutron Activation (Co-author S. Nagasaka etc.): *Radioisotopes*, **13**, 1, 26, 1964. 1.

中性子ラジオグラフィ: *原子力工業*, **10**, 2, 17, 日刊工業新聞社, 1964. 2.

ベータトロンによるウランの非破壊検査 (原らと共著): 日本非破壊検査協会昭和39年度春季大会, I-22, 1964. 3.

助手 妹尾 学

Anomalous Conduction across Ion-Exchange Membranes (山辺武郎と共著): *Bull. Chem. Soc. Japan*, **36**, 7, 877~878, 1963. 7.

イオン交換膜—溶液系の異常電導現象: 表面, **1**, 3, 45~52, 1963. 12.

The Permeabilities of Hydrogen, Sodium and Calcium Ions in Mixed Solvents across Ion-Exchange Membranes (山辺武郎と共著): *Bull. Chem. Soc. Japan*, **37**, 1, 1~3, 1964. 1.

助手 白井ひで子

On the Polarographic Behaviour of Indium Ion in Potassium Thiocyanate (高橋武雄と共著): *Review of Polarography (Japan)*, **11**, 155~159, 1963. 9.

金属イオンの混合溶液中のイオン交換反応におけるアルギン酸の選択的挙動 (高橋武雄, 石渡義夫と共著). *工化誌*, **66**, 145~146, 1963. 10.

ポーログラフィにおける吊下げ水銀電極: *分析機器*, **1**, 11, 56~59, 1963. 11.

助手 佐藤 乙丸

水中放射能のガンマ線による直接検出 (加藤正夫, 松坂光雄と共著): 第5回日本アイソトープ会議論文集, A/d-2, 3~72, 1963. 5.

河川における流量測定: *原子力工業*, **9**, 8, 24, 日刊工業新聞社, 1963. 8.

助手 藤代 光雄

沃度とその工業 (野崎弘と共著, 三版): 電機大学出版部, 1963. 3.

元助手 桜井 裕

定電流電量分析について: *分析機器*, **1**, 9, 37~43, 1963. 9.

Continuous Coulometric Titration of Various Oxidizing Substances by Electrogenerated Iron (II), (高橋武雄と共著): *Talanta*, **10**, 971~979, 1963. 9.

第 5 部

教授 星野 昌一

高層建築物におけるカーテンウォール工法の施工に関する研究: 第2分科会の報告,

p. 300, 建築業協会, 1963. 5.

軽量パネルの工場生産化とその施工に関する研究: 第二分科会の報告, 50~61, 強化プラスチック協会, 1963. 4.

カーテンウォールの耐火性について (カラム): 8号, 70~72, 鉄鋼と金属, 1963.

建築材料としてのプラスチック: 工業と製品, 2号, 13~19, 学会業務研究会, 1963. 6.

防食材料の現状と問題: 点工業と製品, 4号, 7~10, 同上, 1963. 8.

教授 坪井 善勝

球殻曲げ理論近似解の精度(川股重也と共著): 日本建築学会論文報告集第 89 号, 1963. 9.

Suspension Structures for the Tokyo Olympics, (川口衛と共著): Symposium on Structures of High Rise and Large Span, Tokyo, 1963. 10.

下関体育館の構造について: 近代建築, 17 号, 1963. 11.

教授 星 和

交通工学の現状と将来: 機械学会誌, 66, 528, 117~124, 1963. 1.

交通流に関する研究: 自動車技術, 17, 4, 227~232, 1963. 4.

A Method of Analysing Lode-Time-settlement Records: Proc. of the Second Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering, 208~212, 1963. 5.

土のせん断強さ: 土木学会誌, 49, 1, 48~55, 1964. 1.

教授 丸安 隆和

写真測量法による車体線図作成: 新三菱重工技報, 5, 1963. 4.

教授 勝田 高司

送風時におけるダクト系統の発生騒音に関する研究 (渡辺 要, 石井聖光, 後藤 滋, 寺沢達二, 板本守正と共著): 空気調和・衛生工学, 37, 5, 22~33, 1963. 5.

送風時におけるダクト系の発生騒音について (渡辺 要, 石井聖光, 後藤 滋, 寺沢達二, 板本守正と共著): 日本建築学会論文報告集, 89, 281, 1963. 9.

誘引型吹出口ユニットの基本性能について (後藤 滋と共著): 日本建築学会論文報告集, 89, 281, 1963. 9.

パンカールーブルの抵抗係数および流量係数について (寺沢達二と共著): 日本建築学会論文報告集, 89, 336, 1963. 9.

誘引型吹出口ユニットによる室内気流について (後藤 滋, 金国正太郎と共著): 日本建築学会論文報告集, 89, 336, 1963. 9.

工場生産ダクトの抵抗係数について (寺沢達二, 鈴木清彦と共著): 日本建築学会論文

集, 89, 336, 1963. 9.

助教授 井口 昌平

吉野川の洪水流出の変遷について：科学技術庁資源局資料, 1963.

助教授 池辺 陽

設備をユニット化する：建築文化, 1963. 5.

建築活動のシステム化とモジュール割り：建築文化, 1963. 6.

設計計画における基準面の分析：建築文化, 1963. 8.

助教授 三木五三郎

低含水比でしかもトラフィカビリティーの悪い粘性土による土工について（今村芳徳と共著）：第7回日本道路会議論文集, 155~158, 1964. 3.

助教授 田中 尚

弾塑性構造物の解の唯一性と安定性に関するノート：日本建築学会論文報告集, 88, 1963. 10.

プラスチックヒンジにおけるウェブ幅フランジ幅の制限に関する研究（高梨晃一と共著）：日本建築学会論文報告集, 96, 1964. 3.

助教授 石井 聖光

建築音響の模型実験に用いるスピーカとマイクロホンの試作（平野興彦と共著）：日本音響学会研究発表会講演論文集, 55, 1963. 5.

神奈川県立青少年 ホールの音響について：日本建築学会論文報告集, 89, 295, 1963. 9.

東京芸術大学音楽部練習室の音響について（村上処直と共著）：日本建築学会論文報告集, 89, 296, 1963. 9.

送風時におけるダクト系統の発生騒音について（勝田高司, 後藤滋, 板本守正と共著）：日本音響学会研究発表会講演論文集, 55, 1963. 10.

助教授 小林 一輔

軽量コンクリートの乾燥収縮と耐熱性について（丸安隆和, 伊藤利治と共著）：構造用軽量骨材に関するシンポジウム講演概要, 1963. 10.